

Cambridge English教授フレームワーク—英語教師としての能力開発の概要を示す枠組み

ケンブリッジ大学英語検定機構は、英語教師に求められる知識や能力を体系的に表すフレームワークを作成しました。教師としての現在のレベルを確認し、次に何を目指し、そのためにはどうすればよいか、先生方や雇用者（教育機関や企業など）に考える参考にしていただくためのものです。

ステージ	基礎段階	開発段階	熟練段階	専門家段階
学習と学習者	言語学習の概念の一部について、基本的な知識と理解を有している。 指導計画の作成や授業で、理解している内容を少しは発揮することができる。	言語学習の概念の多くについて、一定の知識と理解を有している。 指導計画の作成や授業で、理解している内容を多少は発揮することができる。	言語学習の概念の多くについて、十分な知識と理解を有している。 指導計画の作成や授業で、理解している内容を頻繁に発揮することができる。	言語学習の概念について、高度な知識と理解を有している。 指導計画の作成や授業で、理解している内容を常に発揮することができる。
教授法、学習、評価	教授法、学習、評価の基本原則の一部について、基礎的な知識と理解を有している。 学習者のニーズについて基本的な認識を持ち、基本的な教授法を使って、簡単な授業計画を立て、授業をすることができる。 既製のテストや基本的な評価方法を使い、学習を支援・促進することができる。	教授法、学習、評価の基本原則の多くについて、一応の知識と理解を有している。 学習者のニーズをある程度認識しつつ、複数の教授法を使って、授業計画を立て、授業をすることができる。 簡単なテストを作成したり、いくつかの評価方法を使用したりして、学習を支援・促進することができる。	教授法、学習、評価の基本原則について、十分な知識と理解を有している。 学習者のニーズを十分に認識しながら、さまざまな教授法を使い、詳細な授業計画を立て、授業をすることができる。 効果的なテストを作成したり、さまざまな評価方法を使用したりして、学習を支援・促進することができる。	教授法、学習、評価の基本原則について、高度な知識と理解を有している。 学習者のニーズを完全に理解し、多数の教授法を総合的に用いながら、高度で詳細な授業計画を立て、授業を行うことができる。 効果の高いさまざまなテストを作成したり、個々の学習者に合わせた評価方法を使用したりして、学習を常に支援・促進することができる。
言語能力	CEFRのA1、A2レベルで教える言語の要点について、的確な例を提供できる。 基礎的な教授言語（クラスルーム・ランゲージ）をおおむね正しく使うことができる。	CEFRのA1、A2、B1レベルで教える言語の要点について、的確な例を提供できる。 教授言語（クラスルーム・ランゲージ）をおおむね正しく使うことができる。	CEFRのA1、A2、B1、B2レベルで教える言語の要点について、的確な例を提供できる。 授業中、常に正しい教授言語（クラスルーム・ランゲージ）を使うことができる。	CEFRのA1～C2レベルで教える言語の要点について、的確な例を提供できる。 授業中、多様な教授言語（クラスルーム・ランゲージ）を常に正しく使うことができる。
言語に関する知識と意識	言語を記述するための重要な用語のいくつかを知っている。 参考資料を使えば、学習者の簡単な質問に答えることができる。	言語を記述するための重要な用語の多くについて、一定の知識を有している。 参考資料を使えば、学習者のたいていの質問に答えることができる。	言語を記述するための重要な用語について、十分な知識を有している。 最小限の参考資料の使用で、学習者のたいていの質問に答えることができる。	言語を記述するための重要な用語について、高度な知識を有している。 最小限の参考資料の使用で、学習者のたいていの質問に詳しく答えることができる。
教師としての能力開発と価値	指導があれば授業について振り返ることができ、フィードバックから学ぶことができる。 自分に何が必要かを自身で判断するには、指導が必要である。	指導がなくても授業について振り返り、フィードバックに前向きに対応できる。 自分に何が必要かを自身で判断し、改善すべき分野をいくつか特定することができる。	授業を批判的に振り返り、積極的にフィードバックを求めることができる。 教師としての自分自身の強みや弱みを見極め、他の教員をサポートすることができる。	常に批判的に授業を振り返り、同僚の授業を見学し、教師として成長するために非常に熱心に取り組んでいる。 教師としての自分自身の強みや弱みを十分に認識し、他の教員の成長を積極的にサポートすることができる。